

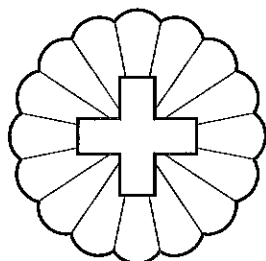
会報

— 13号 —

平成28年3月31日発行

発行者 皆川 浩一

広報編集者 小島南海雄



公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ
指圧師会広報局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町37-4

Tel 03(3252)8811 Fax 03(3252)8813

平成28年度公益事業日程のお知らせ

平成28年度の都師会の公益事業は、昨年度と同様に6月から3月まで、

- ①外部講師招へいによる、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の実技講習会 5回
 - ②松塾+杉塾 5回
- で実施いたします。

以上のうち、①外部講師招へいによる、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の実技講習会の、開催日（各月第3日曜日）と担当講師が次の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。テーマ、会場名、開始時間については、詳細が決まり次第都師会ホームページにてお知らせいたします。なお、9月は、都師会が全鍼師会の「東洋療法推進大会in東京」（22～23日、於・品川プリンスホテル）を共催するため休会です。

- 6月19日 小林紹司（積聚會会長、日本伝統鍼灸学会元副会長）
- 7月17日 油谷真空（北辰会理事、森ノ宮医療大学講師、奈良市・風胤堂院長）
- 8月21日 福島哲也（東京九鍼研究会・灸法臨床研究会講師）
- 10月16日 西村久代（訪問リハビリ研究センター代表取締役）
- 11月20日 木戸正雄（日本鍼灸理療専門学校教務部長、経絡治療夏期大学講師）

松塾、杉塾は昨年度と同様に、毎月第1土曜日（松塾）と第一日曜日（杉塾）に実施いたします。開始時間、会場も原則として従来通り（松塾／10：00～12：00。都師会会館3F会議室。杉塾／10：00～16：00。東京都障害者福祉会館会議室）です。

世界へ羽ばたくか!? 「未病」

●医療費節減に頭を悩ます地方自治体

日本では高齢化のスピードがとどまることをしりません。各自治体は、高齢化の中でいかに国民の健康の維持・増進を図るかと同時に、高齢化による医療費負担の増大をいかに抑えるかに頭を悩ませています。

皆さんのところに、自治体から「あなたが支払った医療費の内訳です」とのお知らせが送られてきたことはありませんか。最近では、このようなお知らせの中に、「あなたが処方してもらった薬をジェネリック薬に変えるとこれだけ医療費が節約できます」との文言が入っていることに気づいたことはありませんでしたか。

それほどに、どこの自治体も医療費の節減に苦勞しています。ジェネリック薬の普及を推し進めるというのも、医療費節減政策の一環です。ジェネリック薬の使用には医師の同意が必要です。最近では薬局がジェネリック薬にしますかと聞いてきますが、医師が出す処方箋のジェネリック薬の欄に「×」がついていると変更できません。

ほとんどの医師は「×」をつけていないようですが、診察を受け薬の処方箋を出してもらうときにジェネリック薬を希望するなら、はっきり意思表示しないと医療費節減に賛成しようとしたあなたの考えも無になってしまいます。それになんといってもジェネリック薬のほうが、家計にとってもやさしいのですから。

●そうだ！ 「未病」があった

医療費を抑えることに頭を悩ませているのは、神奈川県も同じです。神奈川県は全国の中でも高齢化の進展が早いとのことで、医療費節減と高齢化社会における県民の健康の維持・増進は大きな課題です。そんな神奈川県黒岩県知事が目をつけたのが「未病 (ME-BYO)」でした。

知事は県政の最重要課題の一つに「未病」への取り組みを設定しました。学術・企業・団体などの「知」を結集し、「未病」に「最先端医療」と「最新技術」を組み合わせ、「未病のうちに治す」と同時に、健康長寿の実現と新たな産業・市場の創出をめざす取り組みを進めている、とのことでした。

「未病」とは、健康と病気の間の状態を表す概念としてとらえられています。この状態のときに治せば大事にいたらない、といわれています。中国の後漢時代の医書『こうていだい黄帝内けい経』には、「未病」のうちに治すのが名医であると記載されています。江戸時代中期の儒学者で医師でもあった貝原益軒は、その著書『養生訓』の中で、「未病」とは「なま病いまだおこらざるとき」と、この時期に十分に養生すれば大病にはならない、と述べています。

神奈川県が「未病」をテーマにして、まずアピールしたのが昨年10月に行われた二つ

のイベントでした。

① ME-BYO Japan 2015

② 未病サミット神奈川 in 箱根国際シンポジウム

①はバイオ産業の国際展示会・「Bio Japan 2015」の会場に設けられた特設ブースでの展示会です。このブースで、研究機関・企業・団体の「未病」に対応した製品やサービスを紹介しました。

②は①に引き続き二日間開催された国際会議です。「食・栄養・運動」「未病の先進技術」「未病の産業化戦略」「新たな社会システム」の分科会で「未病」についての意見交換が行われました。

①には、味の素(株)、サントリーフーズ(株)、KDDI(株)、富士フイルム(株)など、30社から出展がありました。②は、内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、神奈川県医師会、同歯科医師会、日本経済新聞社などのマスコミ4社に一般財団法人が後援しています。会議は「未病サミット神奈川宣言」を採択して終了しました。その宣言のおもな内容は別表の通りです。

●はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧も活躍の場を

この「未病サミット神奈川宣言」の採択で、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師（以下、あきは師と略）の活躍の場が広がる可能性が出てきました。

未病サミット神奈川宣言

神奈川県は世界でも例を見ないほどのスピードで進む超高齢化に直面しており、私たちは、これまでの社会システムでは立ちいかないという共通の危機感を有している。

この大きな課題を乗り越えるために、私たちはここ神奈川・箱根の地で、健康と病気の間で連続的に変化する状態である未病を基軸に、新たなヘルスケア・社会システムのあり方について議論を行い、次の取り組みを推進し、世界に向けて発信することで一致した。

- ①病気になって初めて行動を起こすのではなく、将来の自己のために、日常生活の中で自分の未病状態をチェックし、心身の状態の改善・維持に主体的に取り組むという行動変革を起こす。
- ②こうした個人の行動変革を、学術・医療・産業・行政など多様な分野の主体が積極的に支えるとともに、これらを担う人材育成を行う。また、新たなヘルスケア・社会システムを実現するさまざまな先進技術の追求や未病の科学的なエビデンス（筆

者注：その方法がよいとされている根拠)の確立により、この動きを加速させる。
③そして個人の未病状態の改善・維持に取り組むための行動の選択権と決定権は、受益者であり負担者でもある自己に帰属するという考えを基本とした、持続性ある新たな社会システムの形成をめざす。

われわれは、未病を基軸としたこれらの取り組みこそが、超高齢社会という人類共通の課題を乗り越えるモデルであることを、世界に向けて、ここに宣言する。

神奈川県から起こった「未病」の国際化の流れが大きく育つことは、「未病」と「養生」を業としているあはき師にとって、歓迎するべきことといえるでしょう。現在あはき師をめざして修業中の次世代に自らの手技を通して健康の維持・増進の一翼を担えるという励みにもなるでしょう。

しかしながら、われわれあはき師としてちょっと割り切れない感情があります。それは、欲をいえば国際化の流れに最初からからんでいきたかったという思いがあるからではないでしょうか。これらの、特設ブースへの出展、国際会議への後援あるいは協力団体に、あはき師の団体の名前を見つけることができません。

「未病」と「養生」といえば、東洋医学を抜きにしては語れない分野です。あはき師の団体の名前がどこにもなかったことはいささか残念だったといえるでしょう。

われわれはわれわれの持つノウハウ、すなわち手技で「未病」と「養生」の担い手として、国民の健康の維持増進に貢献しています。この神奈川からの流れは、せつかくのチャンス到来かもしれません。このことをもっと強く一般社団としてアピールしていく必要性を強く感じます。

願わくは「ME-BYO (ミビョウ)」が、「スシ」「アニメ」「もったいない」「ウマミ」などと並んで、国際語(英語)として通用する世になることを!!

《都師会の活動》

都師会は公益社団法人です。正会員は全員がはり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師などの国家資格保有者で、「都民の健康の維持・増進に貢献する」ことを理念に、医療活動を行っています。お近くの治療院情報、各種お問い合わせは事務局にお寄せください。

《都師会事務局電話》 TEL / 03-3252-8811 FAX / 03-3252-8813
メール / toshikai8811@ybb.ne.jp
ホームページ / <http://www.tokyo89am.or.jp/>